１年学年通信　No．12

豊中市立第十三中学校　　令和２(2020)年 ７ 月 29 日（ 水 ）

初めての期末テストを終えて

中学校生活に慣れ、新しい友達と関係を築きクラスの仲間づくりも頑張れています。クラブ活動での先輩との関係も、すべて新しい生活なので戸惑うことも多かったかと思います。そして、初めての定期テストでは、自分の力を発揮できたでしょうか。

あまりにも一気にたくさんのことをスタートさせたため、気持ちだけが先走り思うような結果がでなかった人もいると思います。「頑張ったつもりなのに…」、「もっと、できたはず…」。**少しずつ、でも着実に自分がやれることを増やしていきましょう。１か月後、１年後、自分はけっこう変わったなと気づく日が訪れることと思います。**

１万時間の法則を知っていますか？

ある分野でスキルを磨いて一流として成功するには、１万時間もの練習・努力・学習が必要だというもの。努力なくしては、簡単に、自分の思うレベルには到達できないという法則です。継続する力が必要であり、あきらめない事が大切です。

１日に平日３時間、土日に５時間ずつ、真剣に練習すると、１週間で２５時間。

２５時間×４週間＝１００時間（１カ月）　　１００時間×１２カ月＝１２００時間（１年）

１２００時間×9＝10800 時間（約１万時間）　一流になるには、約９年間もかかる。

将棋界の藤井聡太　七段は、５ 歳から９年後の１４歳（中学２年）で頭角を現しているのは知っていますね。それぞれの目標をもち、時間を大切に過ごす努力をしてみてください。１日の３時間の半分は、勉強。半分は、スポーツや音楽に使うのもいいと思います。期末テストの結果で一喜一憂せずこれから始まる夏休みも含め、学校・家庭生活での時間の過ごし方を見直してみましょう。

～ 期末テスト講評 ～

国語	初めての定期考査の、最初の教科になりました。緊張したのでしょう。問題を十分読めていない答えが目立ちました。何を問われているのか、どのように答えればよいのか、考えてから答えるようにしましょう。抜き出しの場合の誤字も気になりました。もう一度、自分の答案を見直して間違いの理由を確かめましょう。 表現技法や漢字、文法はこれからの学習の基本です。間違った問題は早めに復習しましょう。
社会	地球について、地図について、様々な気候の中での人々の暮らしについて、の出題でした。 初めての定期テストで緊張したと思います。しかし、採点をしていて、よく努力できているなと感じることができました。多くの人が「最初のテストなので頑張ろう」と思えていたのだと思います。そこはとてもよかったです。 さて、今回の結果を受けて、点数のよしあしだけで喜んだり悲しんだりしている人をみかけました。それではいけません。定期テストは、その期間に学習したことを確認するテストです。だから、今回のテストで間違えたところを復習することに意味があります。何が自分に足りなくて間違えたのかをよく分析して、次にいかすことが大切です。 社会科は、復習が特に大切な教科であるということは授業でもふれたことがあると思います。今回のテストは必ず夏休みに復習をして、完璧にしてから２学期を迎えるようにしてほしいと思います。 努力ができる 44 期生です。その姿勢を持ち続けるようにこれからも日々の学習を頑張りましょう。

講評は、裏に続きます。

数学	今回のテストでは、授業で行ったことの確認が大問１～２です。 大問１については、知識などを問う内容の問題、 大問２については、計算ができるかどうかを確認する内容の問題です。 どちらも、大変重要であり、ここが苦手だと感じる人は、 これからの３年間ずっと、しんどい思いをすることになるでしょう。 夏休みや時間のあるときに、必ず学び直しをしておいてください。 大問３～５については、発展的な問題もありますが、 ほとんどは、提出課題になっていた問題集や白プリントから出題しています。 提出物をおろそかにしている人は、得点できなかったのではないでしょうか。 問題ひとつひとつについて、「理解する」というところまで、取り組むように意識しておきましょう。
英語	１学期は中間テストがなく、期末テストだけになり、テスト範囲が例年よりも広くて、準備勉強も大変だったと思います。それで今回のテストは基礎的な問題を中心に出題しました。全体的には、頑張った結果が表れているように思われます。 ［１］では、２のＩ do not play baseball.を do ではなく、Ｉにつられて am にしている人が多くて、驚きました。一般動詞が使われている文を否定文にするときは、be 動詞ではなく、do を使うことを覚えておきましょう。 ［２］～［６］のような基本的な単語や府県名のヘボン式ローマ字を間違った人は、きちんと書けるように、しっかり復習しておきましょう。 ［７］の並べ替えの問題では文頭を小文字のままにしている人がいました。全文を書く場合は必ず大文字で始めましょう。 ［８］～[10]の自己表現や英作文では、数えられる名詞には冠詞の a や複数形の-s を忘れないようにしましょう。 [11]、[12]のような問題文で、文中の（　　）内の日本語を英語に直す問題では、単に英単語に置き換えるだけではなく、前後関係も考えて、文頭なら大文字で始めたり、複数形にする必要があれば複数形にしなければなりません。本文の流れや文意をよく考えて解答するようにしましょう。 放送問題では記号で答えるべきところを記号で答えていない人が何人かいました。放送をよく聞き、問題文もよく読んで、解答するようにしましょう。

理科	１学期の期末テストは、例年より範囲が広く生物分野と化学分野が混在しました。問題数も多く時間配分がむずかしかったと感じたと思われます。問題文をよく読み理解する努力をしてください。 【生物分野】では、顕微鏡の名称はよくできていました。誤字や漢字ミスが多かったです。日頃から教科書や漢字プリントで出題予想し正しい漢字が書けるように努力してください。記述問題では、簡潔に理由や特徴などを書くことが求められます。特に実験で使用したものは、注意して教科書を確認するようにしてください。「裸子植物」の「裸」は、授業で５回以上、ころもへんと注意していました。１度間違えたミスを２度しないための工夫を各自考えてください。 【化学分野】では、テスト２週間前から授業で取り組んでいたこともあり正解率はよかったです。実験をしたところは、使用した実験器具や実験結果の理由などをテストで問うことが多いです。教科書で、実験上の注意点など必ずテスト前チェックしておいてください。 これから、化学分野を１学期後半から２学期前半にかけて学習していきます。コロナのこともあり休校措置を懸念して、実験を週２ぐらいのペースで実施する予定です。プリントをその都度とじ、提出物もすばやく取り組んで期限内に提出するよう注意してください。マイノートは、授業で学習後すぐにこちらの指示まちでなく自分ですすめていってください。理科は、学校・授業中に勉強しましょう。
保体	【女子】 テスト返却の時に解説しましたが、記号の書き方をこれから気を付けて欲しいと思います。これは、今後３年間色々な教科においてもずっと関係してきますので、今のうちに改善してください。 保健分野は、全体的によく出来ていました。身体を示す漢字には、「月」が多く使われていることなども知っておいた上で、今後教科書に出てくる漢字も正しく覚えて書けるようにしておきましょう。体育分野は、実技の時から内容を理解し、取り組むことができると、ペーパーテストだけでなく実技においても技術が上がります。同時に学びを進めていってくださいね。 【男子】 初めてのテストでしたが、どのように勉強に取り組みましたか。テスト返却の時に、目標をもってしっかり取り組めた人、あまり準備ができなかった人、正直テスト前学習をほとんどしなかった人。さまざまでした。今回のテストを通して、授業やテスト前学習をどのようにしていくか、それぞれが考えてみてください。テスト内容としては、実技分野のラジオ体操は全体的によくできていましたが、逆に新体力テストはあまりできてなかったです。これからも、授業を大事にしながら、１つ１つ大切に学んでいきましょう！